

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立南港桜小

学校

児童数

82

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	14.71	19.16	29.19	31.97	50.61	9.46	122.27	19.51	47.31
大阪市	15.70	19.17	33.01	33.01	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	33.88	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.33	17.00	36.17	30.17	37.00	9.65	109.77	12.17	48.36
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

今年度は、体力合計点は、男女ともに全国平均・大阪市平均を下回った。8種目中、男女ともに、「20mシャトルラン」と「50m走」は全国平均・大阪市平均に対して、同ポイント以上の結果であった。この結果から、男女ともに、持久走と短距離走の結果は良く、筋力、柔軟性に課題があることがわかった。児童質問紙の「運動やスポーツをすることは好きですか」の回答の割合は、「好き」と答える男子の割合は75.6%で全国平均・大阪市平均よりも高かった。一方、女子の割合は41.9%で、全国平均・大阪市平均よりも低かった。1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子は13.9%であり、全国平均・大阪市平均よりも高かった。一方、女子においては、14.2%であり、全国平均・大阪市平均よりも低かった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

今年度は、児童が外に出て体を動かす機会を増やすことを目的に、新しい遊具の設置や環境整備に取り組んだ。1学期のさくらオリンピックでは、去年と異なる種目を取り入れたことで、新たに練習に取り組もうとする児童が増え、運動への意欲向上につながった。また、運動場工事により使用範囲が制限される中でも、縄跳び週間を設定し、自分たちで練習する機会にした。その際、ジャンピングボードを設置したり、長縄を取り入れたりすることで、児童が進んで、縄跳びや長縄を練習する姿が見られた。週間行事は多くの児童が外に出て、意欲的に取り組むことができている。一方で、日々の休み時間では、外に出ていない児童も多い。継続的に運動に親しめるような声かけや、取り組みを行う必要がある。